

令和3年度第2回西東京市緑化審議会会議録（書面開催）

	議事録修正	(1) 令和3年度第1回西東京市緑化審議会会議録（案）について	(2) 「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用計画素案（案）」について	(3) 活動レポート企画（ヤシキリン通信）について
イイン 委員	なし	欠席のため、修正はありません。	別紙参照	特にございません。
カイチョウ 会長	あり	承認します	計画案に対する指摘や意見は、私からはありません。 委員会でのご意見に基づき議論をすることが大事ですので、各委員からお寄せいただいたご意見の共有とフィードバックについて、事務局には工夫をお願いいたします。 今後について、対面が難しいときには、オンライン同時双方向での会議の場は設けていただいた方が良いように思いました。書面での意見聴取は、それにご参加いただけない方からの代替的な意見収集手段にはいかがでしょうか。	今年度、少なくとも第2号は発行をするべきかと思えます。事務局には、その企画を進める調整をお願いします。 また、ヤシキリン通信とは別に、保存会など関わる方の情報発信（WEB配信など）の支援について、前回ご意見がありました。その取り組みを、是非ご検討ください。
イイン 委員	なし	了解しました。特に有りません。	素案p15の表はタイトルがないので例えば「ゾーン別管理方針・方法」付けたらいかがでしょうか？ ・この表の中で、野草園ゾーンの管理方法の欄に入れるのが適当かはわかりませんが、こんな趣旨の文言を入れられたらと思います。以下が提案文です。 「野草園ゾーンは屋敷林全体の野草ショーウィンドウとして機能させ、各ゾーンでは各々の高木等植生環境から生まれる野草の自然生態を完成させ、開花時には見学会を開催する。」例えば現在高木林ゾーンでは野草のムサシアブミの発生が複数確認されています。	了解しました。特にありません。
イイン 委員		承認する。	計画の中で樹木や竹林が生活に利用されたとありますが、ガス電気の無い時代に樹木は薪、建築資材、竹は農業資材、食材等、無くてはならない物として必要にかられて維持、植栽してきた事をアピールしてほしいと思います。樹木の管理に関してですが、道路、民家に隣接している高木は台風、枯れ枝の落下等の心配がありますので、高さを低くしたら良いかと思えます。将来的に、東側の部分を利用して、雰囲気合う店舗でも作って、人が集まりやすい環境にして、あの場所をアピールしたら良いのではないかと思います。	この通りやってほしい。

イン 委員		承認いたします。	別紙	小委員会でも話の出た、委員と保存会の皆さんの行った植生調査のレポートはいかがでしょうか？ その時の意見の繰り返しになりますが、暮らしと歴史と植生の関係は非常に興味深く、また、おかしらさんの思い出の追悼にもなろうかと思えます。 さらに、保存会の皆さんとの共同調査は、まさに、活用しながら保全する、この委員会の目指している姿かと思えますので。
イン 委員	なし	指摘等なし	・竹林ゾーンについて、筍取りや間伐等により密度管理を行うなど、良好な竹林を保全・育成するという視点からの方針が必要ではないでしょうか。 ・野草園ゾーンについて、現在ある野草を保全していく視点からの方針が必要ではないでしょうか。	意見なし
イン 委員		承認します。	1) p 20: 今回の案が絵にかいた餅にならないためのガバナンスを構築すべきだが、そこが抜けている。 ①今回の審議会のように、市、専門家と活動するボランティア等によって組織される協議会が必要。運営の支援、自然環境等に関する問題の解決、ガイドラインに沿って運営管理されているかなどの評価、整備等についての意見交換を行う。 ②下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全活用を推進する中間支援組織が必要。協議会の運営、市と住民ボランティアとの調整、さまざまなステークホルダーへのアウトリーチ（プレイヤーを引き込む）等を実施。 2) 下保谷四丁目特別緑地保全地区の周辺環境の記載が抜けている。施設や学校、ステークホルダーなどがマッピングされた図面。	特にありません
イン 委員	なし	本会議に欠席で失礼いたしました。特に気になる点はございません。	別紙参照	内容について、とても宜しいかと思えます。
イン 委員	あり	補足したいことがある。西原自然公園は、雑木林として残すために、かつての状態に回復させるのではなく、すべて新しくはしないという方針のもと管理されている。その考え方のもと、樹木を植栽していたが、途中で草地が雑木林にとって大切だとわかり、高木、草地、広場などの維持管理も一緒に行い、キンランやギンランも咲くようになった。  補足したいことがある。西原自然公園の雑木林は、雑木林と言うからには活用されていた時代の本来の姿に戻して残して行きたいと考え、古木を皆伐し植林をしてかつての状態に復元させた。 その考え方のもと、樹木を植栽していたが、途中で草地が雑木林にとって大切だとわかり、ゾーン分けをして高木、草地、広場などの維持管理も行い、環境が良くなってキンランやギンランも咲くようになった。	別紙参照	(記入なし)

イ ン 委 員	なし	承認します。	当特別緑地保全地区は、西東京市の歴史・文化を継承する上で、市民の貴重な財産であるという思いから、P13の中段、後世に伝え、地域に住む方々→後世に伝え、広く市民、特に地域に住む方々に修正することについてご検討ください。ただし固執するものではありません。	特にありません。
イ ン 委 員	なし	承認いたします。	良くまとめられていると思われます。	良い構成です 「どのような生活が営まれていたか」のテーマは興味深いです 日蓮宗や農産物の話も出てくるのでしょうか
イ ン 委 員		承認	別紙参照	同意
イ ン 委 員		承認いたします	指摘する点、意見等ありません	同意いたします
イ ン 委 員	なし	承認いたします。	4ページの■下保谷四丁目特別緑地保全地区の略歴 のあと、すぐに■屋敷林の植生の概要 となっていて、そもそも屋敷林とは何か、なぜこういう植生が必要かの説明がないので、この説明を歴史的経緯や地理的特徴を含め概略を解説してほしい。 【歴史の中の下保谷】には、入植の経緯は触れているが、屋敷林については全く触れていない。 10ページの(5)歴史・文化についての中でも、屋敷林はすでにあるものとしての記述で、何の目的でどのように形成されてきたかの記述がない。 (2)植生について■屋敷林の植生の概要で現状の植生ごとの特徴・目的が記述されてはいるが、はじめに屋敷林の意義や目的、歴史的経緯や地理的特徴を記述したほうが分かりやすいと思う。	(1面)「武蔵野の民家と屋敷林の知恵」…屋敷林と建物の配置や構成の特徴について紹介とあるが、上記(2)の回答と同様、すぐに「配置や構成」に入るのではなく、そもそも屋敷林とは何か、その目的(何を実現したかったか)や、歴史的な経緯・発展などを簡単に述べるほうが、理解しやすいのではないか。あるいは、屋敷林を全く知らない人によく理解できるように。特徴のところで、目的や経緯を述べることも考えられる、
イ ン 委 員	なし	承認します。	指摘・意見はありません。 ただし、読みにくいフォーマットでした。	同意します。